

考査項目別運用表(小規模工事)

( 監 督 員 1 ① )

[記入方法] 該当する項目の□に「レ」印を記入する。評価の対象としない項目には「×」印を記入する。

考査項目	細 別	a	b	c	d	e
		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
1. 施工体制	I. 施工体制一般	<p>●「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工体制一般について指示事項がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書を、工事着手前に提出している。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業分担の範囲を、施工体制台帳及び施工体系図に明確に記載している。</p> <p><input type="checkbox"/> 建退共の趣旨を下請業者等に説明するとともに、証紙の購入が適切に行われ、配布が受払簿等により適切に把握されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 元請が下請の作業成果を検査している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工計画書の内容と現場施工方法が一致している。</p> <p><input type="checkbox"/> 緊急指示、災害、事故等が発生した場合の対応が速やかである。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場に対する本店や支店による支援体制を整えている。</p> <p><input type="checkbox"/> 工場製作期間における技術者を適切に配置している。</p> <p><input type="checkbox"/> 機械設備、電気設備等について、製作工場における社内検査体制(規格値の設定や確認方法等)を整えている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 [理由: ]</p> <p>●判断基準</p> <p>該当項目が90%程度以上..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満..... b</p> <p>該当項目が80%程度未満..... c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(11)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。</p> </div>			<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 施工体制一般に関して、監督職員からの文書による指示に従わなかった。</p>
	c					
	II. 配置技術者(現場代理人等)	<p>●「評価対象項目」</p> <p><b>【全体を評価する項目】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、配置技術者について指示事項がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業に必要な作業主任者及び専門技術者を選任及び配置している。</p> <p><b>【現場代理人を評価する項目】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 現場代理人が、工事全体を把握している。</p> <p><input type="checkbox"/> 設計図書と現場との相違があった場合は、監督職員と協議するなどの必要な対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 監督職員への報告を的確に行っている。</p> <p><b>【監理(主任)技術者を評価する項目】</b></p> <p><input type="checkbox"/> 書類を共通仕様書及び諸基準に基づき適切に作成し、整理している。</p> <p><input type="checkbox"/> 契約書、設計図書、適用すべき諸基準を理解し、施工に反映している。</p> <p><input type="checkbox"/> 施工上の課題となる条件(作業環境、気象、地質等)への対応を図っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 下請の施工体制及び施工状況を把握し、技術的な指導を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 監理(主任)技術者が、明確な根拠に基づいて技術的な判断を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 [理由: ]</p> <p>●判断基準</p> <p>該当項目が90%以上..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満..... b</p> <p>該当項目が80%未満..... c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(11)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。</p> </div>			<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員が改善指示を行った。</p>	<p><input type="checkbox"/> 配置技術者に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>
	c					

考査項目別運用表(小規模工事)

( 監 督 員 1 ② )

考査項目	細 別	a 適切である	b ほぼ適切である	c 他の評価に該当しない	d やや不適切である	e 不適切である	
2.施工状況	I.施工管理	<p><b>●「評価対象項目」</b></p> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、施工管理について指示事項がない。 <input type="checkbox"/> 施工計画書が、設計図書及び現場条件を反映したもとなっている。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化に対して、適切に対応している。 <input type="checkbox"/> 工事材料の品質に影響がないよう保管している。 <input type="checkbox"/> 日常の出来形管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 日常の品質管理を、設計図書及び施工計画書に基づき適時及び的確に行っている。 <input type="checkbox"/> 現場内の整理整頓を日常的に行っている。 <input type="checkbox"/> 指定材料の品質証明書及び写真等を整理している。 <input type="checkbox"/> 工事打合せ簿を、不足無く整理している。 <input type="checkbox"/> 建設副産物の再利用等への取り組みを適切に行っている。 <input type="checkbox"/> 工事全般において、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型の建設機械及び車両を使用している。 <input type="checkbox"/> その他 [理由: ]			<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 施工管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	<b>c</b>	<p><b>●判断基準</b>                      該当項目が90%程度以上…… a                      該当項目が80%以上90%未満…… b                      該当項目が80%未満…… c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                          ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                          ③ 評価値(0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(12)                          ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。</p> </div>					
	II.工程管理	<p>a 適切である</p> <p>b ほぼ適切である</p> <p>c 他の評価に該当しない</p>			<p>d やや不適切である</p> <p>e 不適切である</p>		
		<p><b>●「評価対象項目」</b></p> <input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、工程管理について指示事項が無い。 <input type="checkbox"/> 工程に与える要因を的確に把握し、それらを反映した工程表を作成している。 <input type="checkbox"/> 実施工程表の作成及びフォローアップを行っており、適切に工程を管理している。 <input type="checkbox"/> 現場条件の変化への対応が迅速であり、施工の停滞が見られない。 <input type="checkbox"/> 時間制限や片側交互通行等の各種制約への対応が適切であり、大きな工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 工事の進捗を早めるための取り組みを行っている。 <input type="checkbox"/> 適切な工程管理を行い、工程の遅れが無い。 <input type="checkbox"/> 休日の確保を行っている。 <input type="checkbox"/> 計画工程以外の時間外作業がほとんど無い。 <input type="checkbox"/> その他 [理由: ]			<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。		<input type="checkbox"/> 工程管理に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。
	<b>c</b>	<p><b>●判断基準</b>                      該当項目が90%以上…… a                      該当項目が80%以上90%未満…… b                      該当項目が80%未満…… c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                          ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                          ③ 評価値(0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(10)                          ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。</p> </div>					

考査項目別運用表(小規模工事)

( 監 督 員 1 ③ )

考査項目	細 別					
		a	b	c	d	e
III.安全対策		適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	c	<p>●「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、安全対策について指示事項が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害防止協議会を1回/月以上実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全教育及び安全訓練等を半日/月以上実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 新規入場者教育の内容に、当該工事の現場特性を反映している。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事期間を通じて、労働災害及び公衆災害が発生しなかった。</p> <p><input type="checkbox"/> 過積載防止に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 仮設工の点検及び管理を、チェックリスト等を用いて実施している。</p> <p><input type="checkbox"/> 保安施設の設置及び管理を、各種基準及び関係者間の協議に基づき行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 地下埋設物及び架空線等に関する事故防止対策に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 [理由: ]</p> <p>●判断基準</p> <p>該当項目が90%以上..... a</p> <p>該当項目が80%以上90%未満... b</p> <p>該当項目が80%未満..... c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(10)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。</p> </div>			<p><input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全対策に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	
IV.対外関係		a	b	c	d	e
	c	<p>●「評価対象項目」</p> <p><input type="checkbox"/> 「施工プロセス」のチェックリストのうち、対外関係について指示事項がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 関係官公庁などと調整を行い、トラブルの発生がない。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元との調整を行い、トラブルの発生が無い。</p> <p><input type="checkbox"/> 第三者からの苦情が無い。もしくは、苦情に対して適切な対応を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/> 関連工事との調整を行い、円滑な進捗に取り組んでいる。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事の目的及び内容を、工事看板などにより地域住民や通行者等に分りやすく周知している。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 [理由: ]</p> <p>●判断基準</p> <p>該当項目90%以上.....a</p> <p>該当項目80%以上90%未満...b</p> <p>該当項目80%未満.....c</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。</p> <p>② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。</p> <p>③ 評価値(0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(7)</p> <p>④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。</p> </div>			<p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員が文書による改善指示を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> 対外関係に関して、監督職員からの文書による改善指示に従わなかった。</p>	

考查項目別運用表(小規模工事)

( 監督員 1 ④ )

考查項目	a	b	c	d	e					
3.出来形及び出来ばえ I.出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内である。	<input checked="" type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。					
<input type="checkbox"/> c	※ ばらつき判断は別紙一4参照 ①出来形の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 ②出来形とは、設計図書に示された工事目的物の形状及び寸法をいう。 ③出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、別に定める出来形管理項目や管理基準等に基づき評価を行うものとする。 ④出来形管理項目を設定していない工事は「c」評価とする ⑤工事内容等によりばらつきで評価できない場合は、規格値・基準値・設計値と測定した出来形寸法との差の大小など、測定値と許容値等との関係性をもってばらつき評価に代えてもよい。									
考查項目	a	b	c	d	e					
II.品質	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが概ね50%以内である。	<input type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが概ね80%以内である。	<input checked="" type="checkbox"/> 品質の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a、bに該当しない。	<input type="checkbox"/> 品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で改善指示を行った。	<input type="checkbox"/> 契約書第17条に基づき、監督職員が改造請求を行った。					
<input type="checkbox"/> c	※ ばらつきの判断は別紙一4参照 ①品質の評定は、工事全般を通じて評定するものとする。 ②品質とは、設計図書に示された工事目的物の規格である。 ③品質管理とは、「土木工事施工管理基準」の試験項目、試験基準及び規格値に基づく全ての段階における品質確保のための管理体系である。なお、当該管理基準によりがたい場合等については、別に定める品質管理項目や管理基準等に基づき評価を行うものとする。 ④品質管理項目を設定していない工事は「c」評価とする。 ⑤ばらつき評価が適当でない場合は、下記評価項目により評価する。									
<input type="checkbox"/> c	<ばらつき評価が適切ではない場合> <table border="1"> <thead> <tr> <th>a</th> <th>b</th> <th>c</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>適切である</td> <td>ほぼ適切である</td> <td>他の評価に該当しない</td> </tr> </tbody> </table>				a	b	c	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない
a	b	c								
適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない								
<input type="checkbox"/> c	●【評価対象項目】 <input type="checkbox"/> 常に緊急的な作業に対応できる体制を整えている。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対して迅速に対応している。 <input type="checkbox"/> 監督職員の指示事項に対し、現地状況を勘案し、施工方法や構造について提案するなど積極的に取組んでいる。 <input type="checkbox"/> 施工条件、気象条件を考慮して施工している。 <input type="checkbox"/> 材料の品質・形状が証明書等で確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所以外の部分に損傷を与えないよう工夫している。 <input type="checkbox"/> 施工時期や施工場所について地域や環境への配慮を行った。 その他〔理由： 〕									
<input type="checkbox"/> c	●判断基準 該当項目が6項目以上・・・ a 該当項目が4項目・・・・・・ b 該当項目が3項目・・・・・・ c									



考查項目別運用表(小規模工事)

( 主 管 係 長 2 ① )

[記入方法] 該当する項目の□に「レ」印を記入する。

考查項目	細 別	a	b	c	d	e
2.施工状況	II.工程管理	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">d</div>	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程管理を適切に行ったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 工事施工場所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。</p> <p><input type="checkbox"/> 完全週休2日に取り組み、建設業の労働環境改善に貢献した。 (完全週休2日に取り組み、現場閉所日率100%以上を確保した工事とする)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 [理由: ]</p> <p>●判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して、下記の目安を参考に評価を行う。</p> <p>該当5項目以上評価・・・a</p> <p>該当3項目以上評価・・・b</p> <p>該当1項目以上評価・・・c</p> <p>該当なし・・・・・・・・・・d</p>				
	III.安全対策	適切である	ほぼ適切である	他の評価に該当しない	やや不適切である	不適切である
	<div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; margin: 0 auto; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">d</div>	<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全管理に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 [理由: ]</p> <p>●判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して、下記の目安を参考に評価を行う。</p> <p>該当5項目以上評価・・・a</p> <p>該当3項目以上評価・・・b</p> <p>該当1項目以上評価・・・c</p> <p>該当なし・・・・・・・・・・d</p>				

考查項目別運用表(小規模工事)

( 主 管 係 長 2 ② )

考查項目	細 別	対 応 事 項	【事 例】 具体的な施工条件等への対応事例
4. 工事特性	1. 施工条件等への対応	<p>I. 構造物の特殊性への対応</p> <p>1. 対象構造物の高さ、延長、施工(断)面積、施工深度等の規模が特殊な工事</p> <p>2. 対象構造物の形状が複雑であることなどから、施工条件が特に変化する工事</p> <p>3. その他 [理由: ]</p> <p>※上記の対応事項に1つ以上のレ点が付けば4点の加点とする。</p> <p>II. 都市部の作業環境、社会条件等への対応</p> <p>4. 地盤の変形、近接構造物、地中埋設物への影響に配慮する工事</p> <p>5. 周辺環境条件により、作業条件、工程等に大きな影響を受ける工事</p> <p>6. 周辺住民等に対する騒音・振動を特に配慮する工事</p> <p>7. 現道上での交通規制に大きく影響する工事</p> <p>8. 緊急時に対応が特に必要な工事</p> <p>9. 施工箇所が広範囲にわたる工事</p> <p>10. その他 [理由: ]</p> <p>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。</p> <p>III. 厳しい自然・地盤条件への対応</p> <p>11. 特殊な地盤条件への対応が必要な工事</p> <p>12. 雨・雪・風・気温・波浪等の自然条件の影響が大きな工事</p> <p>13. 急峻な地形及び土石流危険渓流内での工事</p> <p>14. 動植物等の自然環境の保全に特に配慮しなければならない工事</p> <p>15. その他 [理由: ]</p> <p>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば4点の加点とする。</p> <p>IV. 長期工事における安全確保への対応</p> <p>16. 12ヶ月を超える工事で、事故がなく完成した工事(全面一時中止期間は除く)</p> <p>※ただし、文書注意に至らない事故は除く。</p> <p>17. その他 [理由: ]</p> <p>※上記の対応事項に1つ以上レ点が付けば6点の加点とする。</p>	<p>(1. について)</p> <p>切土、盛土の土工量:5万m<sup>3</sup>以上、護岸・築堤の平均高さ5m以上、浚渫工:10万m<sup>3</sup>以上、トンネル(NATM):内空断面積:100m<sup>2</sup>以上                  推進工(羽工、泥水加圧):φ2000mm以上、樋管:30m以上、樋門又は水門の扉体面積:50m<sup>2</sup>以上、砂防ダムの堤高さ:15m以上                  海岸堤防、護岸、突堤又は離岸堤の水深:10m以上、地滑り防止工:幅50m以上又は延長80m以上、                  橋梁下部工の高さ:15m以上、橋梁上部工の最大支間長:60m以上</p> <p>(2. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・砂防工事などにおいて、現地合わせに基づいて再設計が必要な工事。</li> <li>・鉄道に隣接した橋脚の耐震補強工事又は河道内流水部における橋脚の撤去工事。</li> <li>・供用中の道路トンネルの拡幅工事。</li> </ul> <p>(3. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、構造物固有の難しさへの対応が特に必要な工事。</li> <li>・その他、技術固有の難しさへの対応が必要である工事。</li> <li>・地山強度が低い又は土被りが薄いため、FEM解析などによる検討が必要な工事。</li> </ul> <p>(4. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・供用中の鉄道又は道路と交差する橋梁などの工事。</li> <li>・市街地等の密集地での、鉄道又は道路をアンダーパスする工事。</li> <li>・監視などの結果に基づき、工法の変更を行った工事。</li> </ul> <p>(5. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ガス管、水道管、電話線等の支障物件の移設について、施工工程の管理に特に注意を要した工事。</li> <li>・地元調整や環境対策などの制約が多い工事。</li> <li>・そのほか、各種制約があり、施工に特に厳しい制限を受けた工事。</li> </ul> <p>(6. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市街地での夜間工事。</li> <li>・DID地区での工事。</li> </ul> <p>(7. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日交通量が概ね1万台以上の道路で片側交互通行の交通規制をした工事。</li> <li>・供用している自動車専用道路等の路上工事で、交通規制が必要な工事。</li> <li>・工事期間中の大半にわたって、交通開放を行うため規制標識の設置撤去を日々行った工事。</li> </ul> <p>(8. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急時の作業があり、その作業の全てに対応した工事。</li> </ul> <p>(9. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作業現場が広範囲に分布している工事。</li> </ul> <p>(10. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施工ヤードの広さや高さ制限があり、機械の使用など施工に制約を受けた工事。</li> <li>・その他、周辺環境又は社会条件への対応が必要な工事</li> </ul> <p>(11. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川内の橋脚工事において地下水位が高く、ウェルポイント工法などによる排水や大規模な山留めなどが必要な工事。</li> <li>・支持地盤の形状が複雑なため、深礎杭基礎毎に地質調査を実施するなど支持地盤を確認しながら再設計した工事。</li> <li>・施工不可能日が多ことから、施工機械の稼働率や台数などを的確に把握する必要が生じた工事。</li> </ul> <p>(12. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・海岸又は河川区域内のため、設計書で計上する以上に波浪等の影響で不稼働日が多く、主に作業船や台船を使用する工事。</li> <li>・潜水夫を多用した工事又は波浪や水位変動が大きいため作業構台等を設置した工事。</li> </ul> <p>(13. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・急峻な地形のため、作業構台や作業床の設置が制限される工事。もしくは、命綱を使用する必要があった工事(法面工は除く)。</li> <li>・斜面又は急峻な地形直下での工事のため、工事に伴う地滑り防止対策等の安全対策を必要とした工事。</li> <li>・土石流危険渓流に指定された区域内における工事。</li> </ul> <p>(14. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イヌワシ等の猛禽類などの貴重な動植物への配慮のため、工程や施工方法に制約を受けた工事。</li> </ul> <p>(15. について)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・その他、自然条件又は地盤条件への対応が必要であった工事。</li> <li>・その他、災害等における臨機の措置のうち特に評価すべき事項が認められる工事。</li> </ul>
	評 価	評 点 : _____ 点	

※1 工事特性は、最大20点の加点評価とする。

※2 評価にあたっては、監督員等の意見も参考に評価する。

考查項目別運用表(小規模工事)

( 主 管 係 長 2 ③ )

考查項目	細 別	a	a'	b	b'	c
6. 社会性等	I.地域への貢献等	優れている	bより優れている	やや優れている	cより優れている	他の評価に該当しない
<div style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; margin-left: 10px;"></div>		<p>●評価対象項目</p> <p><input type="checkbox"/> 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。</p> <p><input type="checkbox"/> 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域の景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 定期的に広報紙の配布や現場見学会を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。</p> <p><input type="checkbox"/> 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。</p> <p><input type="checkbox"/> 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。</p> <p><input type="checkbox"/> その他 [理由: ]</p> <p>●判断基準</p> <p>上記該当項目を総合的に判断して、下記の目安を参考に評価を行う。</p> <p>該当6項目以上評価・・・a</p> <p>該当5項目以上評価・・・a'</p> <p>該当4項目以上評価・・・b</p> <p>該当2項目以上評価・・・b'</p> <p>該当0項目以上評価・・・c</p>				

考查項目別運用表(小規模工事)

( 主 管 係 長 2 ④ )

考查項目	法令遵守等の該当項目一覧表																								
7.法令遵守等	<table border="1" data-bbox="318 225 1301 486"> <thead> <tr> <th data-bbox="318 225 1093 248">措 置 内 容</th> <th data-bbox="1093 225 1301 248">点 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="318 248 1093 272">1.指名停止3ヶ月以上</td> <td data-bbox="1093 248 1301 272">-20点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 272 1093 296">2.指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満</td> <td data-bbox="1093 272 1301 296">-15点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 296 1093 320">3.指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満</td> <td data-bbox="1093 296 1301 320">-13点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 320 1093 344">4.指名停止2週間以上1ヶ月未満</td> <td data-bbox="1093 320 1301 344">-10点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 344 1093 368">5.文書注意</td> <td data-bbox="1093 344 1301 368">- 8点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 368 1093 392">6.口頭注意</td> <td data-bbox="1093 368 1301 392">- 5点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 392 1093 424">7.工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合</td> <td data-bbox="1093 392 1301 424">- 3点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 424 1093 472">8.その他 [理由: ]</td> <td data-bbox="1093 424 1301 472">- 点</td> </tr> <tr> <td data-bbox="318 472 1093 486">9.項目該当なし</td> <td data-bbox="1093 472 1301 486">減点無し</td> </tr> </tbody> </table> <div data-bbox="1581 440 1863 486" style="float: right; border: 1px solid black; padding: 2px;"> <table border="1"> <tr> <td style="padding: 2px;">法令遵守等 評定点合計</td> <td style="width: 50px;"></td> <td style="width: 20px; text-align: center;">点</td> </tr> </table> </div> <p data-bbox="353 507 1995 616">                     ① 本評価項目(7.法令遵守等)で評価する事例は、施工にあたって、工事関係者が下記の適応事例で上表の措置があった場合に適用する。                      ② 「施工」とは、請負契約書の記載内容(工事名、工期、施工場所等)を履行することに限定する。                      ③ 「工事関係者」とは、当該現場に従事する現場代理人、監理技術者、主任技術者、品質証明員、受注会社の現場従事職員及び当該工事にあたって下請契約し、それを履行するために従事する者に限定する。                      ④ 総合評価入札方式における技術提案等が、受注者の責により履行されなかった場合、8. その他の項目で減ずる措置を行う。                      ⑤ 週休2日制で施工する受注者が週休2日制による施工に取り組む意思が見られない場合、8. その他の項目で減ずる措置を行う。                 </p> <p data-bbox="353 639 2040 1002"> <b>【上記で評価する場合の適応事例】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1.入札前に提出した調査資料等において、虚偽の事実が判明した。</li> <li>・ 2.承諾なしに権利又は義務を第三者に譲渡又は承継した。</li> <li>・ 3.使用人に関する労働条件に問題があり送検された。</li> <li>・ 4.産業廃棄物処理法に違反する不法投棄、砂利採取法に違反する無許可採取等の関係法令に違反する事実が判明した。</li> <li>・ 5.当該工事関係者が贈賄などにより逮捕又は公訴された。</li> <li>・ 6.一括下請や技術者の専任違反等の建設業法に違反する事実が判明した。</li> <li>・ 7.入国管理法に違反する外国人の不法就労者が判明し、送検された。</li> <li>・ 8.労働基準法に違反する事実が判明し、送検等された。</li> <li>・ 9.監督又は検査の実施を、不当な圧力をかけるなどにより妨げた。</li> <li>・ 10.下請代金を期日以内に支払っていない。不当に下請代金の額を減じているなど下請代金支払遅延等防止法第4条に規定する親事業者の遵守事項に違反する行為がある。</li> <li>・ 11.過積載等の道路交通法違反により、逮捕または送検された。</li> <li>・ 12.受注企業の社員に「指定暴力団」又は「指定暴力団の傘下組織(団体)」に所属する構成員、準構成員、企業舎弟等の暴力団関係者がいることが判明した。</li> <li>・ 13.下請に暴力団関係企業が入っていることが判明した。あるいは「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」第9条に記載されている砂利、砂、防音シート、軍手等の物品の納入、土木作業員やガードマンの受け入れ、土木作業員用の自動販売機の設置等を行っている事実が判明した。</li> <li>・ 14.安全管理が不適切であったことから死傷者を生じさせた工事関係者事故又は重大な損害を与えた公衆損害事故を起こした。</li> <li>・ 15.受注者が社会保険等未加入建設業の下請負人と契約を締結した。(措置内容については、指名停止等の区分による)</li> </ul> </p>		措 置 内 容	点 数	1.指名停止3ヶ月以上	-20点	2.指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点	3.指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点	4.指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点	5.文書注意	- 8点	6.口頭注意	- 5点	7.工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3点	8.その他 [理由: ]	- 点	9.項目該当なし	減点無し	法令遵守等 評定点合計		点
措 置 内 容	点 数																								
1.指名停止3ヶ月以上	-20点																								
2.指名停止2ヶ月以上3ヶ月未満	-15点																								
3.指名停止1ヶ月以上2ヶ月未満	-13点																								
4.指名停止2週間以上1ヶ月未満	-10点																								
5.文書注意	- 8点																								
6.口頭注意	- 5点																								
7.工事関係者事故または公衆災害が発生したが、当該事故に係る安全管理の措置の不適切な程度が軽微なため、口頭注意以上の処分が行われなかった場合	- 3点																								
8.その他 [理由: ]	- 点																								
9.項目該当なし	減点無し																								
法令遵守等 評定点合計		点																							



考查項目別運用表(小規模工事)

( 検 査 員 3 - 2 )

考查項目	a	a'	b	b'	c	d	e
3. 出来形及び出来ばえ I. 出来形	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の4項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね50%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の3項目以上が該当する。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、そのばらつきが規格値の概ね80%以内で、下記の「評定対象項目」の2項目以上が該当する。	<input checked="" type="checkbox"/> 出来形の測定が、必要な測定項目について所定の測定基準に基づき行われており、測定値が規格値を満足し、a~b'に該当しない。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	<input type="checkbox"/> 出来形の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。
<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">C</div>	<p>●「評価対象項目」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 出来形管理が容易に把握できるよう、出来形管理図及び出来形管理表を工夫していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 社内の管理基準に基づき管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形が写真で確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 不可視部分の出来形値が、写真と測定結果一覧表で一致していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形確認が、適切な時期に、適切な方法で行われていることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> 写真管理基準の管理項目を満足している。</li> <li><input type="checkbox"/> 出来形管理基準が定められていない工種について、監督職員と協議の上で管理していることが確認できる。</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> <p style="text-align: center;">[理由: ]</p> <p>※ばらつきの判断は別紙-4参照。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>① 出来形は、工事全般を通じて評定するものとする。                  ② 出来形とは、設計図書に示された工事事務物の形状及び寸法をいう。                  ③ 出来形管理とは、「土木工事施工管理基準」の測定項目、測定基準及び規格値に基づき所定の出来形を確保する管理体系である。                  ④ 出来形管理項目を設定していない工事はc評価とする。                  ⑤ 工事内容等によりばらつきで評価できない場合は、規格値・基準値・設計値と測定した出来形寸法との差の大小など、測定値と許容値等との関係性をもってばらつき評価に代えてもよい。</p> </div>						

検査項目別運用表(小規模工事)

(検査員 3-3)

検査項目	a	a'	b	b'	c	d	e																												
3. 出来形及び出来ばえ II. 品質	品質関係の試験結果のばらつきと評価対象項目の履行状況(評価値)から判断する【判断基準参照】 [関連基準、土木工事施工管理基準、その他設計図書に定められた試験] ※ばらつきの判断は別紙-4参照					品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、監督職員が文書で指示を行い改善された。	品質関係の測定方法又は測定値が不適切であったため、検査職員が修補指示を行った。																												
C	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 使用する材料の品質・形状等が適切であり、かつ現場において材料確認を適宜・的確に行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 材料の品質照合の書類(現物照合)を整理し品質の確認ができる。 <input type="checkbox"/> 現地状況を勘案し、施工方法や構造についての提案を行うなど積極的に取り組んでいることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工箇所以外の部分に損傷を与えないよう工夫していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工条件や気象条件を考慮して施工したことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 緊急的な作業に対応できる体制を整えていたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工時期や施工場所について地域や環境への配慮をしたことが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの配合試験及び試験練りを行っており、コンクリートの品質(強度・w/c、最大骨材粒径、塩化物総量、単位水量、アルカリ骨材反応抑制等)が確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 鉄筋の組立及び加工が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートの養生が設計図書の仕様を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> アスファルト混合物の品質が、配合設計及び試験練りの結果又は事前審査制度の証明書類により確認できる。 <input type="checkbox"/> 施工基面を平滑に仕上げていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 雨水による崩壊が起こらないように排水対策を実施していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 床掘箇所への湧水及び滞水等は排除して施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 締固めが設計図書に定められた条件を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> CBR試験などの品質管理に必要な試験を行っていることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 掘削箇所において掘りすぎがなく施工していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> コンクリートブロック等を損傷無く設置していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 鋼材の品質が証明書類で確認できる。 <input type="checkbox"/> 二次製品の品質照合の書類(現物照合)が整理されており、設計図書で指定する品質を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> 対象物に有害なクラック、損傷が無い。 <input type="checkbox"/> 水平度、鉛直度、勾配等が設計図書を満足していることが確認できる。 <input type="checkbox"/> その他 [理由: ]																																		
	<p>① 当該「評価対象項目」のうち、対象としない項目は削除する。                  ② 削除項目のある場合は、削除後の評価項目数を母数として計算した比率(%)計算の値で評価する。                  ③ 評価値(0%) = 該当項目数(0) / 評価対象項目数(24)                  ④ なお、削除後の評価対象項目数が2項目以下の場合は「c」評価とする。</p>					<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">評価値</th> <th colspan="3">ばらつきで判断可能</th> <th rowspan="2">ばらつきで判断不可能</th> </tr> <tr> <th>50%以下</th> <th>80%以下</th> <th>80%超</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>90%以上</td> <td>a</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b</td> </tr> <tr> <td>75%以上~90%未満</td> <td>a'</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>b'</td> </tr> <tr> <td>60%以上~75%未満</td> <td>b</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> <tr> <td>60%未満</td> <td>b'</td> <td>c</td> <td>c</td> <td>c</td> </tr> </tbody> </table>	評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能	50%以下	80%以下	80%超	90%以上	a	a'	b	b	75%以上~90%未満	a'	b	b'	b'	60%以上~75%未満	b	b'	c	c	60%未満	b'	c	c	c	
評価値	ばらつきで判断可能			ばらつきで判断不可能																															
	50%以下	80%以下	80%超																																
90%以上	a	a'	b	b																															
75%以上~90%未満	a'	b	b'	b'																															
60%以上~75%未満	b	b'	c	c																															
60%未満	b'	c	c	c																															
	※試験結果の打点数等が少なくばらつきの判断ができない場合は評価対象項目(評価値)だけで評価する。																																		

考查項目別運用表(小規模工事)

(検査員 3 - 4)

考 査 項 目	a 優れている	b やや優れている	c 他の評価に該当しない	d 劣っている
3.出来形及び出来ばえ III.出来ばえ <div style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px; display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin: 10px auto;">d</div>	<p>●評価対象項目</p> <input type="checkbox"/> 関係構造物等との取り合いが設計図書を満足するよう施工されている。 <input type="checkbox"/> 仕上げがよい <input type="checkbox"/> 施工管理記録等から不可視部分の出来映えの良さがわかる。 <input type="checkbox"/> 施工対象物の通りが良い。 <input type="checkbox"/> 細微まできめ細やかな施工がされている。 <input type="checkbox"/> 全体的な美観がよい。 <input type="checkbox"/> クラック、隙間、がたつき等がない。 <input type="checkbox"/> 総合的な機能がよい。 <p>●判断基準</p> 該当5項目程度以上・・・a 該当4項目程度・・・・・・・b 該当3項目程度・・・・・・・c 該当2項目程度以下・・・d			